

交野市埋蔵文化財調査報告 2005-I

平成 17 年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2006. 3

交野市教育委員会

例　　言

- 1 本書は、交野市教育委員会が平成 17 年度国庫補助事業（事業総額 1,000,000 円 国庫補助率 50% 市負担率 50%）として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
- 2 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。本書作成にあたっては宮野裕美子氏の協力を得た。
- 3 本書で使用した方位は、磁北方位である。

目 次

例 言

目 次

第 1 章	埋蔵文化財発掘調査の状況	1
第 2 章	発掘調査報告	10
第 1 節	森遺跡	10
第 2 節	私部城跡	12
挿 図		
第 1 図	遺跡分布図	7
第 2 図	調査地位置図(1)	8
第 3 図	調査地位置図(2)	9
第 4 図	調査地位置図	10
第 5 図	掘削地位置図	10
第 6 図	トレンチ東側断面実測図	10
第 7 図	出土遺物実測図	11
第 8 図	調査地位置図	12
第 9 図	掘削地位置図	13
第 10 図	第 1 トレンチ第 1 遺構面	13
第 11 図	第 1 トレンチ第 2 遺構面	13
第 12 図	第 1 トレンチ第 3 遺構面	14
第 13 図	第 1 トレンチ西側断面実測図	14
第 14 図	出土遺物実測図	14

挿 表

第 1 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (1)	1
第 2 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (2)	2
第 3 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (3)	3
第 4 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (4)	4
第 5 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (5)	5
第 6 表 平成 17 年度発掘調査一覧 (6)	6

図 版

図版 1 森遺跡 2005-2 次東側トレンチ
図版 2 森遺跡 2005-2 次遺物包含層
図版 3 私部城跡 2005-1 次第 1 トレンチ遺構検出状況
図版 4 私部城跡 2005-1 次第 1 トレンチ（西側）
図版 5 森遺跡 2005-2 次 出土遺物 (1)
図版 6 森遺跡 2005-2 次 出土遺物 (2)
図版 7 私部城跡 2005-1 次 出土遺物

報告書抄録

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成17年4月1日から平成18年2月20日に至る間、交野郡衙跡他24件の補助事業に係る発掘調査を実施した。埋蔵文化財の届出件数は、平成18年2月28日現在で125件であり、昨年の同時期における届出件数が108件であることから、若干増加している。ここ数年のデータでも届出件数は、増加傾向を示している。

工事の種別では、個人住宅建設が全体の4割、分譲住宅建設が3割、その他3割となっている。

遺跡別に見てみると届出件数の最も多かったのは、東倉治遺跡の27件、ついで交野郡衙跡の26件、森遺跡の15件で、特に東倉治遺跡の場合、宅地造成に伴う届出が大半を占めていた。また交野郡衙跡の場合は分譲住宅建設に伴う届出が多かった。なお届出の内訳は、確認調査31件、立会調査2件、慎重工事92件となっている。

今年度補助事業に係る確認調査の対象となった遺跡は、外殿垣内遺跡、交野郡衙跡、布懸遺跡、森遺跡、神宮寺遺跡、倉治古墳群、寺村遺跡、坊領遺跡、私部城跡、馬場遺跡、上の山遺跡、東倉治遺跡の12遺跡24件である。

平成16年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
1	17.4.11	外殿垣内遺跡 2005-1次	藤が尾5丁目 95-5	調査区中央部分に約1.3×2.4mのトルエンチを設定し、重機にて約1.8mの深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
2	17.5.6	交野郡衙跡 2005-1次	郡津1丁目 2005-1の一部	調査区南西部部分に約0.95×6.0mのトルエンチを設定し、重機にて約0.85mの深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

第1表 平成17年度発掘調査一覧(1)

3	17. 5. 6	交野郡衙跡 2005-2 次	郡津 1 丁目 2005-1, -2 の各一部	調査区中央部分に約 1.3×3.5m のトレンチを設定し、重機にて約 1.0m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
4	17. 6. 9	森遺跡 2005-1 次	森南 1 丁目 296-1 の一部、 296-3	調査区中央南西側部分に約 1.0×3.2m のトレンチを設定し、重機にて約 1.05m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

平成 17 年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
5	17. 6. 7	布懸遺跡 2005-1 次	星田 4 丁目 3318-1	調査区道路部分北側に約 1.3×2.2m、南側に約 1.2×2.2m のトレンチをそれぞれ設定し、重機にて約 0.95m の深さまで掘削を行った。2 トレンチともに遺構・遺物は検出しなかった。
6	17. 6. 17	神宮寺遺跡 2005-1 次	神宮寺 2 丁目 162-7	調査区南側部分に約 0.93×1.7m のトレンチを設定し、人力にて約 0.5m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
7	17. 6. 29	外殿垣内遺跡 2005-2 次	藤が尾 5 丁目 95-6	調査区北側中央部分に約 1.4×2.2m のトレンチを設定し、重機にて約 2.1m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
8	17. 7. 1	倉治古墳群 2005-1 次	東倉治 2 丁目 1488	調査区南西隅に約 1.3×1.5m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 0.8m の深さまで掘削を行う。遺構・遺物は検出しなかった。

第 2 表 平成 17 年度発掘調査一覧(2)

9	17. 7. 12	布懸遺跡 2005-2 次	星田 4 丁目 3318-7	調査区北側部分に約 0.6×2.1m のトレンチを設定し、重機にて約 1.5m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
10	17. 8. 29	交野郡衙跡 2005-3 次	幾野 2 丁目 20-13	調査区南東部分に約 1.3×2.8m のトレンチを設定し、重機にて約 1.4m の深さまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
11	17. 9. 13 ～ 17. 9. 14	森遺跡 2005-2 次	森南 3 丁目 774-1 の一部 775, 776	調査区北側の道路予定地に約 1.7×4.4m のトレンチを設定し、重機にて約 0.5m まで掘削を行った後、その下約 0.3m まで人力掘削・精査を行う。表土下約 0.7m で中世の遺物包含層で、須恵器等を検出。遺構は検出しなかった。 (本書 10 ページに記載)
12	17. 9. 21	交野郡衙跡 2005-4 次	郡津 4 丁目 359 外	調査区内 3 カ所に約 1.5×0.8m、約 1.6×1.3m、約 1.6×0.8m の大きさのトレンチを設定し、重機にてそれぞれ約 0.50m の深さまで掘削を行ったのち、人力にて精査した。いずれも遺構・遺物は検出しなかった。
13	17. 10. 11	交野郡衙跡 2005-5 次	郡津 3 丁目 1921, 1925	調査区内南側部分に約 1.2×3.1m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 0.93m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。表土下約 0.55m で地山層を掘り込んだ楕円形のくぼみを検出した。このくぼみは、近年のものと思われ、その他に遺構・遺物は検出しなかった。

第 3 表 平成 17 年度発掘調査一覧(3)

14	17. 10. 12	寺村遺跡 2005-1 次	寺 2 丁目 1475-3	調査区内東側部分に約 1.3×3.0m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 1.2m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。遺構・遺物は検出しなかった。
15	17. 10. 19 ～ 17. 10. 21	坊領遺跡 2005-1 次	藤が尾 6 丁目 194-2 の一部	調査区中央北側部分に約 1.0×2.3m のトレンチを設定し、重機にて約 0.96m の深さまで掘削を行った後、人力にて精査した。遺構・遺物は検出しなかった。
16	17. 10. 24	交野郡衙跡 2005-6 次	郡津 1 丁目 240-1. 241-3. 241-4	調査区中央部分に約 2.5×1.0m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 1.3m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。遺構・遺物は検出しなかった。
17	17. 10. 26 ～ 17. 11. 4	私部城跡 2005-1 次	私部 6 丁目 1713-3.-4. -5.-6. 2981-5.-6. -7.-8	調査区内 2 カ所にトレンチを設定し、重機にて掘削したのち、人力による精査を行った。第 1 トレンチは調査区西側約 1.3×2.6m のトレンチで地表下約 0.20m 掘削したところで、井戸状遺構及び溝状遺構を検出した。溝状遺構では瓦器片を検出した。第 2 トレンチは南側道路に接する部分に約 0.8×2.7m のトレンチを設定し、約 0.35m 掘削を行ったところ、表上下約 0.3m で地山層となった。遺構・遺物は検出しなかった。 (本書 12 ページに記載)

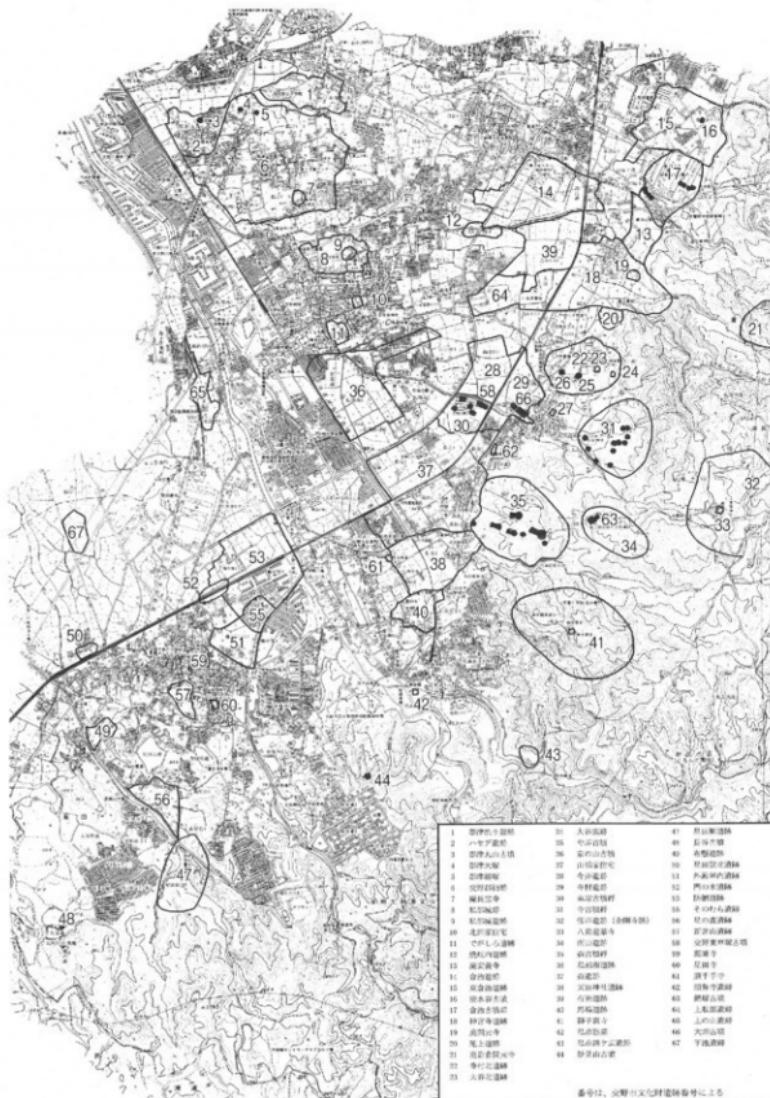
第 4 表 平成 17 年度発掘調査一覧(4)

18	17. 10. 27	交野郡衙跡 2005-7 次	郡津 2 丁目 1560-1.-3. 1568-2.-16	調査区内東側部分に約 1.0×1.9 m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 0.75m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。地表下約 0.7m のにぶい黄橙色シルト層からは土器の細片と思われるものも見られたが、その他遺構・遺物は検出しなかった。
19	17. 10. 28	馬場遺跡 2005-1 次	私市 6 丁目 465-3.-4. 470-1.-2. 471. 482. 里道	調査区東側斜面部分に約 1.4×2.2 m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 1.2m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。遺構・遺物は検出しなかった。
20	17. 10. 28	馬場遺跡 2005-2 次	私市 6 丁目 449-1	調査区内東南部分に約 0.7×2.0 m の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 0.8m の深さまで掘削を行ったのち人力にて精査した。地表下約 0.8m より下層ににぶい褐色砂質土が堆積していた。炭や土器片が土壤化したと思われるものが見られ、遺物包含層の可能性がある。遺構は検出しなかった。
21	17. 11. 16	上の山遺跡 2005-1 次	私部西 4 丁目 1032-1	調査区内 2 カ所にトレンチを設定し、重機にて掘削したのち、人力による精査を行った。第 1 トレンチは調査区南側約 1.2×1.4 m の大きさのトレンチで地表下約 0.50m まで掘削を行った。第 2 トレンチは調査区北側に設定した約 1.2×1.6 m の大きさのトレンチで、表土下約 0.50m まで掘削を行った。いずれも遺構・遺物は検出しなかった。

第 5 表 平成 17 年度発掘調査一覧(5)

22	17. 11. 25	東倉治遺跡 2005-1 次	東倉治 5 丁目 2084 外	調査区内 2 カ所にトレンチを設定し、重機にて掘削したのち、人力による精査を行った。第 1 トレンチは調査区中央部分に設定した約 $1.2 \times 2.0\text{m}$ の大きさのトレンチで、地表下約 2.6m の深さまで掘削し、第 2 トレンチは調査区東側に設定した約 $1.2 \times 2.5\text{m}$ の大きさのトレンチで、地表下約 2.3m の深さまで掘削した。遺構・遺物は検出しなかった。
23	17. 12. 8	私部城跡 2005-2 次	私部 3 丁目 1666-10	調査区内東北部分に約 $1.4 \times 2.6\text{m}$ の大きさのトレンチを設定し、重機にて約 0.8m 掘削したのち、人力による精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
24	17. 12. 26	森遺跡 2005-3 次	森南 3 丁目 774-13 他	調査区内南西隅に約 $1.5 \times 3.0\text{m}$ の大きさのトレンチを設定し、地表下約 0.7m の深さまで重機にて掘削したのち、人力による精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

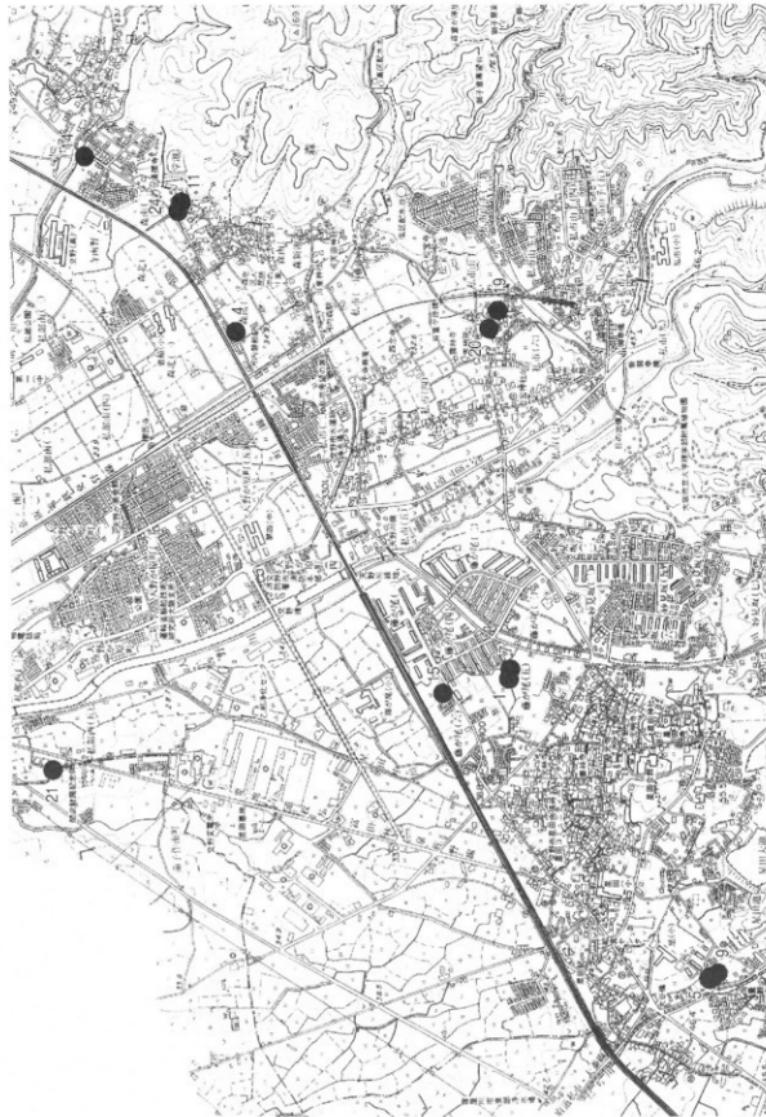
第 6 表 平成 17 年度発掘調査一覧(6)



第1図 遺跡分布図(1:30,000)



第2図 調査地位置図(1) (1:15,000)



第2章 発掘調査報告

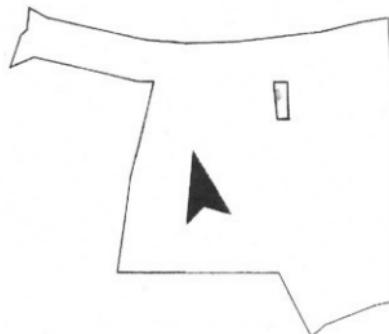
第1節 森遺跡

森遺跡 2005-2次調査（森南3丁目774-1の一部他）

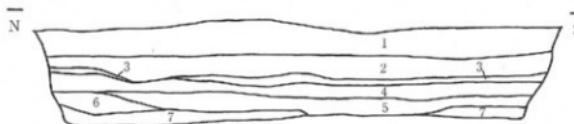
調査区北側の道路予定地に約1.7×4.4mのトレンチを設定し、重機にて約0.5mまで掘削を行った後、その下約0.3mまで人力掘削・精査を行った。表土は約0.25mで、その下約0.2mまで黄橙色砂質土、その下約0.05mまで灰白色砂質土、その下約0.1mまで灰褐色砂質土、その下約0.1～0.2mまで褐灰色砂質土と北側の一部が明褐色砂質土、その下層は中世の遺物包含層となった。遺物包含層からは須恵器、土師器、瓦器、陶磁器を検出した。確認の為に一部を更に掘削したところ、遺物包含層は約0.45mまで続き、その下は褐灰色砂質土となっていた。トレンチ中央北側部分の遺物包含層では木炭が集中して散布していたが、遺構は検出しなかった。



第4図 調査地位置図 (1 : 2,500)

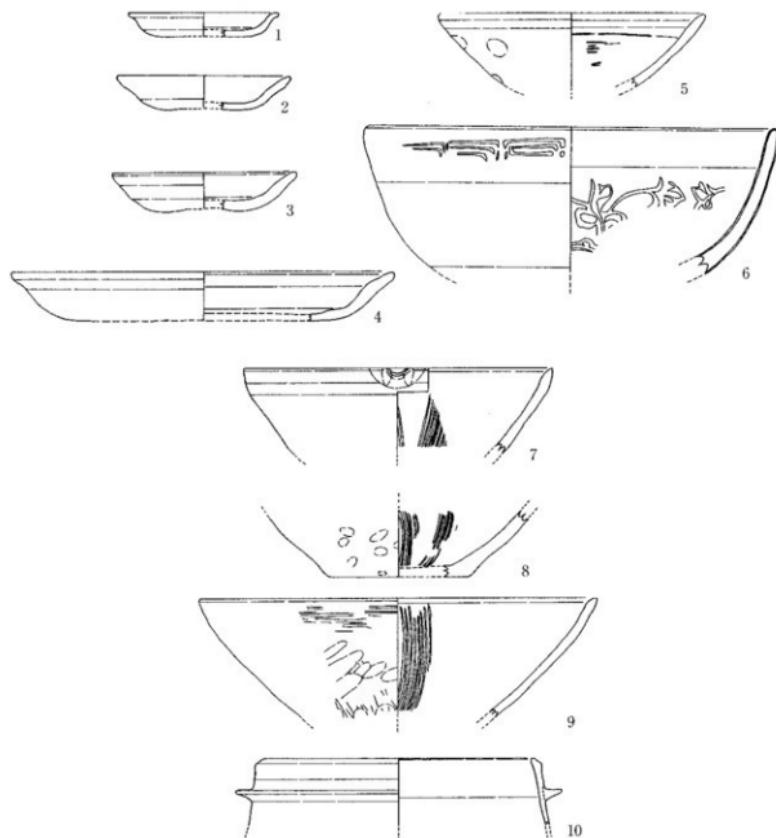


第5図 掘削地位置図 (1 : 600)



1. 表土 2. 10YR7/8 黄橙色砂質土 3. 10YR7/1 灰白色砂質土 4. 7.5YR5/2 灰褐色砂質土
5. 5YR4/1 褐灰色砂質土 6. 7.5YR5/6 明褐色砂質土 7. 10YR5/1 褐灰色粘質土（遺物包含層）

第6図 トレンチ東側断面実測図 (1 : 40)



第7図 出土遺物実測図 (1~6 1:2 7~10 1:4)

第7図は検出した遺物の中で実測可能な図である。1～4は上師皿で内外面ともに横ナデを施し、口縁端部を丸くおさめる。1～3は口径6.3～7.6cm、器高1.0～2.0cmを測る。4は口径15.6cm、器高2.2cm。5は瓦器椀である。口径10.7cm、器高3.0cm。口縁部はやや外反し、口縁端部を丸くおさめる。体部外面には指圧痕、内面にはヘラミガキ調整。6は龍泉系青磁椀で口径26.6cm。口縁部外面に雷文帯、

体部内面に草文あり。7は大和型瓦質擂鉢で口径25.2cm。幅の狭い片口があり、口縁端部は尖り気味に終わる。内面に7本の擂り目。8は瓦質擂鉢の底部で、底径11.4cm。内外面ともにナデ調整が施され、外面には指圧痕、内面には7本の擂り目が入る。9は土師器擂鉢で口径32.2cm。口縁端部は丸くおさめる。口縁部外面に横方向にハケメ、体部に縦方向のハケメの後に指ナデが施されている。内面に8本の擂り目。10は土師器羽釜で口径22.0cm。口縁部の立ち上がりはやや内傾し、肩部に鈎をめぐらす。内外面ともにナデ調整を施す。

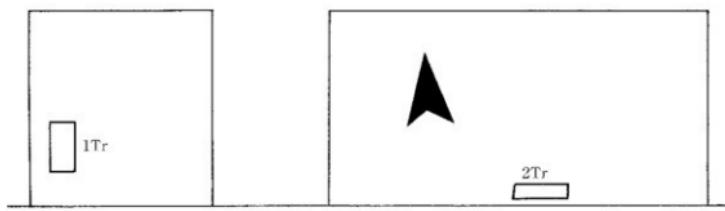
第2節 私部城跡

私部城跡 2005-1次調査（私部6丁目1713-3他）

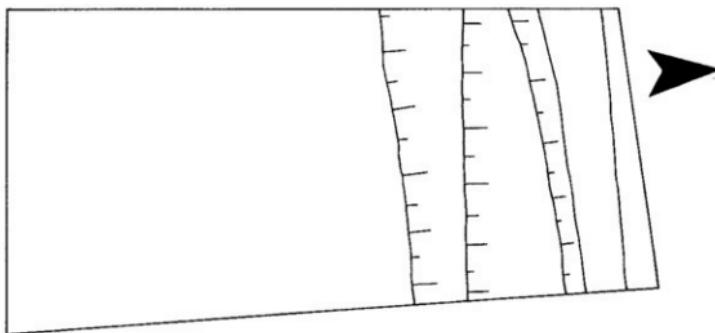
調査区内2カ所にトレンチを設定し、重機にて掘削したのち、人力による精査を行った。第1トレンチは調査区西側約1.3×2.6mのトレンチで地表下約0.20m掘削したところで、井戸状遺構及び東西に走る溝状遺構を検出した。トレンチ内北側で検出した灰黄褐色シルトの溝状遺構からは瓦器片が見られ、中世と考えられるが、その他の溝状遺構及び井戸状遺構は近現代の遺構と思われる。第2トレンチは南側道路に接する部分に約0.8×2.7mのトレンチを設定し、約0.35m掘削を行ったところ、表土下約0.3mで、明黄褐色砂層の地山層となった。遺構・遺物は検出しなかった。



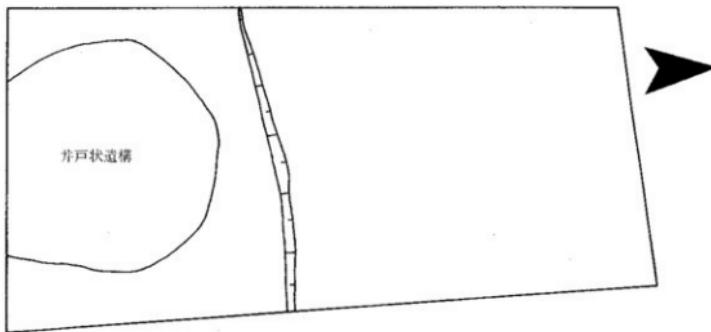
第8図 調査地位置図 (1:2,500)



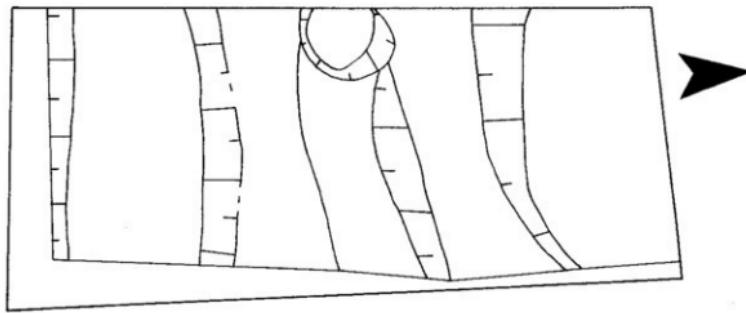
第9図 掘削地位置図 (1:250)



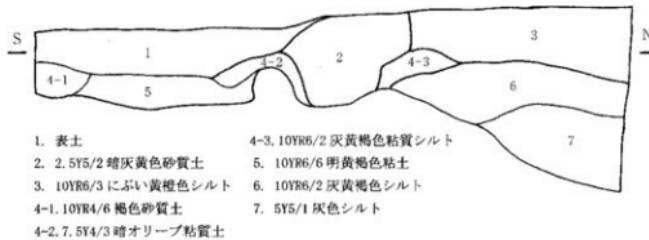
第10図 第1トレンチ第1遺構面 (1:20)



第11図 第1トレンチ第2遺構面 (1:20)



第12図 第1トレンチ第3遺構面 (1:20)



第13図 第1トレンチ西側断面実測図 (1:20)



第14図 出土遺物実測図 (1:1)

図 版



図版1 森遺跡2005-2次東側トレンチ



図版2 森遺跡2005-2次遺物包含層



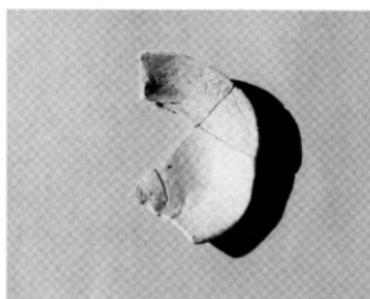
図版3 私部城跡2005-1次第1トレンチ遺構検出状況



図版4 私部城跡2005-1次第1トレンチ（西側）



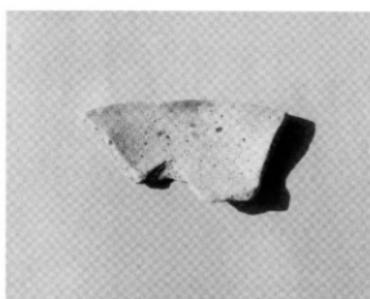
1



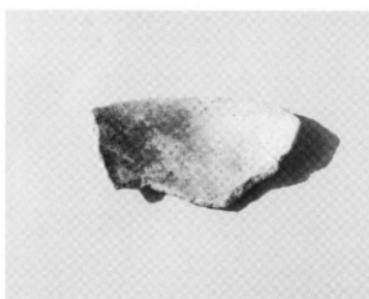
2



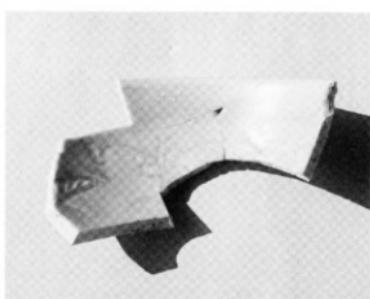
3



4

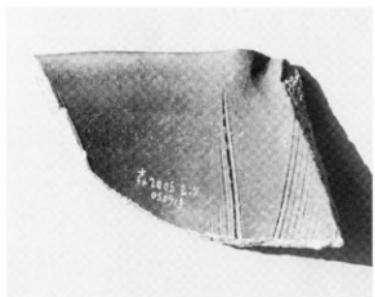


5



6

图版5 森遗迹2005-2次 出土遗物（1）



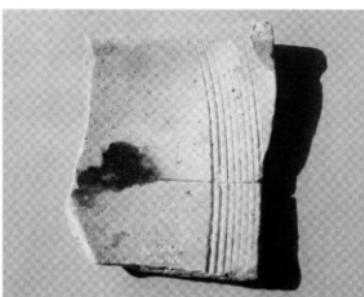
7



8

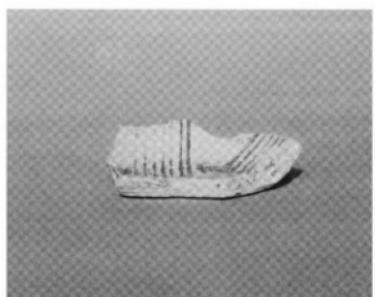


9



10

図版6 森遺跡2005-2次 出土遺物（2）



図版7 私部城跡2005-1次 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	へいせい 17 ねんどかたのしまいぞうぶんかざいはつくつちょうさがいよう						
書名	平成 17 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
卷次							
シリーズ名	交野市文化財調査報告 2005-I						
シリーズ番号							
編著者名	小川暢子						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576-0052 大阪府交野市私部1丁目1番1号 Tel(072)892-0121						
発行年月日	西暦 2006 年 3 月						
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				
森遺跡 2005-2 次	交野市森南	27230		34° 46' 30"	135° 41' 34"	2005.9.13 ~ 2005.9.14	7.48 宅地造成
私部城跡 2005-1 次	交野市私部	27230		34° 47' 10"	135° 40' 57"	2005.10.26 ~ 2005.11.4	5.54 分譲住宅 下水道
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項	
森遺跡	散布地	中世		須恵器・土師器・ 瓦器・陶磁器			
私部城跡	散布地	中世	溝状遺構	土師器・瓦器・ 陶磁器			

平成17年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発 行 日 2006年3月30日

編集・発行 交野市教育委員会

大阪府交野市私部1丁目1番1号

印 刷 所 京阪工技社

(本報告書は、再生紙を使用しています。)



